

ボストンで迎える初めての朝です。涼やかな風と共に一日が始まりました。私たちが滞在しているボストン大学は、近くを流れるチャールズ川をキャンパスから見る事が出来ます。キャンパスのあちこちには綺麗に手入れをされた芝生や、色とりどりの花が咲き、花壇の中を飛び交う野生のウサギを見ることができます。昨夜は遅くにベッドに入りましたが、早朝集まってきた生徒さんは、このキャンパスによく似合うすっきりとした表情でした。疲労がたまっている人もいたと思いますが、これからここで待ち受ける数々の出会いや体験が楽しみで仕方がないという様子でした。

カフェテリアで朝食を済ませ、一行はプレイズメントテストの会場に向かいます。これからレッスンを受けるクラスが決まる、大事なクラス分けテストです。マークシートを用いた筆記試験と、先生が対面で行うインタビューテストの二つを受験しました。筆記試験は簡単な文法問題から始まり、問題を進めるにつれて難易度が上がります。選択肢の単語が全く読めない…という生徒さんも少なくありませんでした。一方インタビューテスト(いわゆるスピーキングテスト)は、家族のことや趣味のことを聞かれ、受け答えがしやすかったようです。こちらのテストの結果は、明日の朝に発表されます。

テストの後、ランチの時に少し動きがありました。一緒の教室でテストを受けていたベトナム人グループと共に食事を取る男子が数名見て取れました。ボストンに到着してまだ数時間しか経過していませんが、限られた時間やチャンスを逃したくないと言わんばかりの行動力です！この動きは午後に入ると、徐々に加速していきます。午後のアクティビティは、ボストン大学のキャンパスを使ったフォト・スカベンジャーハントでした。「指定された橋の上でメンバー全員が入った自撮りをする」など、与えられたテーマに沿ってキャンパスを歩き回り、お目当ての場所で写真を撮ります。ポルトガルの学生、ウクライナの学生、中国の学生など、共に学ぶ留学生同士で競い合ってミッションをクリアしていきました。スカベンジャー・ハント中にすれ違う留学生と挨拶を交わし、その後の夕食でも楽しそうに笑い合う中部生が見られました。その姿は「やらなければ！」という使命感や責任感ではなく、ただ単に「もっと話したい！」という好奇心からの発露のように見えます。もちろん中には、まだまだ一步を踏み出せない人もいますが、今後の活動がとても楽しみな一日でした。以上、本日のご報告とさせていただきます。

品数が多い食事は何を食べようか迷ってしまいます



この芝生の上をウサギが跳ね回ります



スカベンジャー・ハントの一幕



ニューベリーストリートを散策



今日は初めて地下鉄に乗りました



少し緊張？

